



＜ハンドボール部、県新人大会で健闘＞

11月23日(土)から24日(日)にかけて、川俣町体育館でハンドボール競技の県新人大会が開催され、本校ハンドボール部が出場しました。

初日は、県北地区の清水中と対戦し、27-15で快勝しました。翌日は同じく県北地区の信夫中と対戦しました。信夫中は県北地区の大会を1位で通過した実力のあるチームでした。何とか食らいついていきましたが、23-33で惜敗しました。結果は県ベスト8でしたが、1つ勝利したことは今までの練習の成果であり、自信を持ってほしいと思います。また、格上のチームと対戦できたことも成果だと思えます。対戦して何かしら感じたことがあると思います。相手のスピードや当たりの強さ、パスワークなど、自分たちにはないものは何だったのかをよく振り返って、来年の大会までに磨き上げてほしいと思います。

＜「学びのスタンダード推進事業」公開授業・教育講演会を実施＞

11月27日(水)に県教育委員会の事業である「学びのスタンダード推進事業」による公開授業を国語(2年1組)、数学(2年2組)、理科(1年1組)の3教科で実施しました。この事業は平成29年度から3年間の事業で、小川地区が指定を受けて実践されてきました。特に小川中学校はパイロット校として中心的な役割を担って取り組んできました。具体的には、県教育委員会で作成した「授業スタンダード」(授業の基本的な進め方やポイントとなる事項をまとめたもの)や「家庭学習スタンダード」(家庭学習の進め方やポイントとなる事項をまとめたもの)を効果的に活用して、教師の授業改善(分かる授業の実践)と生徒の学習内容の定着を図ることが目的です。

国語の授業では、ことわざの解説文を書く授業を、数学の授業では、一筆書きした星形の内角の和を求める方法を考え説明する授業を、理科の授業では、凸レンズを2枚使ったときの像について調べることとおして、老眼鏡で物が見える理由を説明する授業を行いました。3年間の集大成となる授業で、授業で学んで得た知識や技能を活用する授業を展開しました。

授業後には分科会を各教科で開催し、提供した授業について参加した他校の先生方から意見をいただきました。分科会の後は体育館に移動し、全体会を行いました。全体会では、これまでの研究実践の概要について、研修主任から発表を行いました。また、教育講演会として、教育のための科学研究所の上席研究員である目黒朋子先生から「AI時代に求められるリーディングスキルとは」の演題で、これからの授業の在り方などについて助言をいただきました。

今年度で「学びのスタンダード推進事業」は終了となりますが、3年間をとおして、生徒の授業や家庭学習に対する意識が向上してきました。また、先生方の授業づくりに対する意識も変化し、分かりやすい授業とするために、工夫して授業に取り組むようになりました。それに伴い、生徒たちの授業での姿も活発になり、話し合いや作業などに進んで取り組んでいます。課題としては「学習内容の定着」があげられます。授業や単元の終わりの学習の振り返り(学習した内容を自分の言葉で整理してノートに書かせるなど)や、学習した内容の継続的な復習(授業後の復習や各種テストへ向けた復習)などが十分に行われていなかったことが原因として考えられます。

これまで3年間で費やしてきたことを無駄にすることなく、引き続き「分かる授業の実践」や「学習内容の定着」に取り組んでいきたいと思えます。



国語の授業



数学の授業



理科の授業



講演会

＜支援物資をいただきました＞

11月26日(火)に、小川町商工会女性部の方々に来校し、今回の台風により被害を受けた本校に支援物資を届けていただきました。生徒たちが元気になればとのことで、フルーツゼリーをいただきました。

放課後に生徒一人一人に配付しました。商工会の皆さんの真心に感謝いたします。



<第2回「朝食について見直そう週間運動」の結果について>

11月11日(月)から15日(金)にかけて実施してきた「朝食について見直そう週間運動」のアンケート結果がまとまりました。その結果は次のとおりです。(数字は%です)

項目		第1回	第2回
①最終日の朝食摂取		98.7	98.7
②朝食に野菜を食べた		56.3	51.7
③朝食に汁物を食べた		57.0	65.1
④昼食以外に誰かと食事	2回	69.5	65.1
	1回	27.2	31.5
	0回	3.3	3.4

<第1回と比べて変化した点>

- ①朝食に野菜を食べた割合が減少
- ②朝食に汁物を食べた割合が増加
- ③誰かと食事が2回で減少、1回で増加

小川中学校の朝食状況については、概ね良好と思います。改善点として考えられることとしては、「誰かと食事」の部分で、できれば給食も含めて3食で「孤食」をなくすことかと思えます(諸事情により、それが困難な場合もあると思います)。また、最近では、朝食に対する考え方も諸説あり、これが絶対だと決めることは難しいところもあります。しかし、成長段階に中学生は、筋肉や骨、内臓、血液などをつくるのに必要な栄養素を、必要な分だけ摂取することが大切です。「～過ぎ」はよくありません。賢明な食生活を心がけたいと思います。

<「和食の日」にちなんだ給食>

11月24日は「いいにほんしょく」になぞらえて「和食の日」となっています。今日の給食は「和食の日」にちなんで和食献立で、いわきの和食料理人の鈴木信明さんが考えたメニュー(炊き込みさつまいもごはん、ゆず香るとり田楽、白和え、さんまつみれ汁、いわき梨の一口ゼリー)でした。

和食の基本は「だし」です。今日の給食は「だし」を味わう本格的な和食のメニューでした。「だし」は汁物や煮物など、様々な料理のベースに使われています。江戸時代の料理書には「だしこそ料理の根本である」と書かれてあるそうです。平成25年12月4日には、和食がユネスコの無形文化遺産に登録されました。普段、何気なく食している味噌汁なども立派な和食です。これからも日本特有の文化として、大切にしていきたいと思えます。

<来週から「師走」>

今日で11月の登校日が最後となり、来週からは12月で「師走」になります。

師走は「しわす、しはす」と読み、その意味・由来・語源には諸説あります。有名な説としては、「師匠である僧侶が、お経をあげるために東西を馳せる月」という意味の「師馳す(しはす)」があります。この「師馳す」については、平安末期の「色葉字類抄(いろはじるいしょう)」に説明が出ています。現在の「師走」は、この説をもとに字が当てられたと考えられています。

他には、年が果てる(終わる)という意味の「年果つ(としはつ)」が「しはす」に変化したとする説、万葉集の頃から「シハス」と呼ばれていたとする説、四季の果てる月を意味する「四極(しはつ)」を語源とする説、一年の最後になし終えるという意味の「為果つ(しはつ)」を語源とする説などがあります。

いずれにしても1年が終わるということで、何かと忙しい時期になると思います。学校では、2学期の反省や冬休みの計画作りなどがあります。また、3年生については私立高校の受験も始まり、願書などの必要書類の準備や面接練習などがあります。1つ1つ丁寧に行い、冬休みを迎えたいと思います。なお、12月のおもな予定は次のとおりです。詳しくはホームページに掲載してある行事予定表をご覧ください。

12 / 2 (月)	期末テスト(2日目)	12 / 13 (金)	職業講話(6校時)
	校内防火診断	18 (水)	ノー部活デー
4 (水)	ノー部活デー		職員会議
7 (土)	土曜授業 弁当持参	21 (土)	生徒会長サミット実践報告会
	アンサンブルコンテスト	23 (月)	弁当持参
8 (日)	ジュニアバドミントン大会	24 (火)	終業式 弁当持参
11 (水)	ノー部活デー	27 (金)	仕事納め
	消費者教育(2年生)		

【来週の予定】

月 日	曜日	給食	おもな行事
11月30日	土	△	Lucent カップソフトテニス大会(1年生大会、平テニスコート)
12月2日	月	○	放送朝会 期末テスト2日目(理・美・社・技家) 月45の授業 磐城一高出願(～4日)
12月3日	火	○	3年学力テスト 司書来校 昌平高推薦出願(～9日)
12月4日	水	○	ノー部活デー
12月5日	木	○	秀英高出願(～6日)
12月6日	金	○	金12345水1の授業
12月7日	土	×	土曜授業 弁当持参 月45火3456の授業 部活動なし(バド可) 支部アンサンブルコンテスト(アリオス)
12月8日	日	△	緑蔭高入試 ジュニアバドミントン大会(市総合体育館)